

### 第3章 二つの世界大戦と日本 2 政党政治の時代

#### 1 政党政治と国際協調 (p. 108~109)

##### 本格的な政党内閣の成立

1918年 [ ] 内閣成立 ([ ] とよんで国民は歓迎)

- [ ] による本格的な政党内閣
- [ ] の展開  
鉄道拡張, 産業と通商貿易の奨励, 教育施設の改善拡充, 国防の充実
- [ ] 制の導入  
→選挙後の納税資格を引き下げ  
直接国税 10円 → [ ] 円以上へ
- 原首相は東京駅で刺殺される

##### ワシントン会議と協調外交

東アジア・太平洋地域での日本の勢力伸張を [ ] が警戒

- 1921~22年 [ ]  
日本首席全権: [ ] 海相 (高橋是清 [政友会] 内閣)
- (1) [ ] : 日・米・英・仏が調印  
[ ] 地域における相互権利の尊重  
→ [ ] は廃棄
- (2) [ ] : 日・米・英・伊・蘭・中・ベルギー・ポルトガルが調印  
[ ] の主権尊重, 領土保全, 門戸開放, 機会均等を確認  
→ [ ] は廃棄  
→日本は [ ] の旧ドイツ権益を中国に返還
- (3) [ ] : 日・米・英・仏・伊が調印  
[ ] 保有比率を設定  
米 [ ] : 英 [ ] : 日 [ ] : 仏 1.67 : 伊 1.67
- アメリカ主導の [ ] が成立  
→太平洋・東アジア地域における列強の協調  
→日本の中国侵略を制約
- [ ] 外相の [ ] 外交  
→イギリス・アメリカと協調しながら中国内の日本権益確保